関西大学

社会安全学部 安全マネジメント学科

この学科で学ぶこと

安全・安心という視点を通じて、社会や人間、自然を洞察しながら問題を解決し、自然災害・社会災害の最小化を目指していく。多様な学問分野を学び、総合することで問題を解決する能力を養う。

大学情報

URL https://www.kansai-u.ac.jp/
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
関西大学 入試センター
TEL 06-6368-1121（大代表）

資料請求

法学部 / 文学部 / 経済学部 / 商学部 / 社会学部 / 政策創造学部 / 外国語学部 / 人間健康学部 / 総合情報学部 / 社会安全学部 / システム理工学部 / 環境都市工学部 / 化学生命工学部

将来はモノづくりに関わりたい!

現在、4年生なので就職活動中ですが、メーカーの営業職が志望です（4年生時に取材）。モノづくりに関わって、形あるものをお客様に提供する仕事は、自分自身も喜びを感じられるのでは、と思っています。

伊藤 利政くん
社会安全学部 安全マネジメント学科2020年卒
大阪府立 山田高校卒

社会安全学部は、ここがおもしろい!

文系も理系もいる学部なので、本当にいろんな人がいて研究テーマもさまざまです。自分と似た研究テーマの人もいますが、違った視点やアプローチがあるので、刺激や気づきがありますね。

川崎 雄太くん
社会安全学部 安全マネジメント学科2020年卒
兵庫県立 明石西高校卒

Information

入試情報

挑戦を後押しする入試制度へ
～受験できる機会が増える!～

2021年の関西大学の個別学力検査は、受験日が選択できるようになりました。さらに試験日が2月5日・6日・7日にあたる試験は、全国28都市での受験が可能になるなど、受験できる機会が増えます。また英語外部試験を利用する入試方式を、8学部に拡充して実施します。

日程名称や試験日は変わりますが、原則として高等学校で学習する基礎・基本レベルを中心とした出題方針は変わりません。過去問題を参考にしてください。また、関西大学の入試問題は科目・配点・試験時間が同じであれば、学部による出題傾向の違いがないことも特徴です。

【一般入試】
◆全学日程1
2021年2月1日～3日
◆学部独自日程
2月4日
◆全学日程2
2月5日～7日

【共通テスト利用入試】
◆併用
2月1日～7日
◆前期 個別学力検査は課しません
◆後期 個別学力検査は課しません

※今後の新型コロナウイルス感染症の状況により選抜方法などを変更する場合があります。必ず「関西大学入試情報総合サイトKan-Dai web」をご確認ください。

私の学食オススメメニュー

千里山キャンパス・ダイニングホール・ディノアの「管理栄養士のバランスランチ」は、栄養バランスやカロリーに配慮した健康的なメニュー。低農薬こだわり米やオーガニック野菜など、体に優しい食材が味わえます。

本日の講義
4.26（金）
at 高槻ミューズキャンパス
14:40~16:10

卒業研究

この講義で学ぶこと

防災・減災の新時代が到来している。そうした背景の中でこの講義では、過去の災害の教訓を自分たちで紡ぎ出し、多くの人々が持続可能な形で「安全・安心」技術による恩恵を享受できる社会づくりに必要な知性を養っていく。

文系と理系の体系を超えて安全・安心な社会づくりを

ドローンで避難訓練を観察 地域住民の行動を把握しデータ整理・分析を行う

「なぜ9時から防災訓練が始まるのに、8時45分からドローン撮影を開始したのか?」

奥村先生から問いが発せられた。

毎週金曜に行われる奥村ゼミは、4年生2名が研究の進捗を報告し、それを元にして3年生、4年生全ゼミ生でディスカッションを行う。本日一人目の学生のテーマは「ドローンを用いて把握された住民の避難行動の特徴分析」。奥村ゼミでは数年前から、兵庫県南あわじ市阿万中西地区での避難訓練の様子をドローンで撮影して住民の行動を分析している。上空から地域住民の行動を把握しデータ整理・分析を行うことで、地域住民と共に「どのように避難訓練を行えばよいか」の議論の場を設けているのだ。

「45分から撮影を始めるのは、その前に訓練開始の予告のアナウンスがあるのと、すでに避難している人がいるかもしれないからです」と学生が答える。

「避難訓練では『今日は9時から始まります』という予告のアナウンスや、訓練が始まると、そわそわした雰囲気があって9時前に家を出ていく人がいます。実際の津波の避難開始は、揺れのあとの人の動きだけれども、訓練での避難開始については、訓練開始時間よりも少し前から注目すべき動きが見られます。訓練開始時間よりも前に人がどのように動き始めるかキャッチすることが重要」と補足が加わる。先生と発表した学生は現地を訪れ、ドローン撮影を実施した避難訓練に立ち会っている。座学だけではなく、屋外での調査によって自らデータを取り、何を提案することが有用であるかを考える知性を養っている。それが奥村ゼミの醍醐味といえるだろう。

研究の途中経過に的確なアドバイス 質の高い卒論へと導く

「僕は『災害関連死の教訓』について調べています」。次の学生の発表が始まった。「関連死で多いのは、誤嚥性肺炎、エコノミークラス症候群、自殺、肺炎です」とフローで示しながら説明が続いた。

生徒の発表が終わると「この研究の意義の一つは、実際の災害関連死がどういうプロセスで発生しているのか、その因果関係をきちんと整理することです」と先生は補足した。

さらに「防災対策には大事なポイントが二つあります。一つは実際に過去に起こったことから教訓を得て、同じ失敗を繰り返さないこと。もう一つは、先手を打っておくこと。皆さんが研究に行き詰まったら、どちらのアプローチで対策を考えようとしたのかを、顧みたらいいと思います」と続けた。

社会安全学部は、2010年設立の新しい学部だ。先生いわく「文系・理系の両側面を持つのが特長です。既存の枠組みに捕らわれず、自然科学系も社会科学系も学んでいます」と。安全・安心な社会づくりのために、「幅広い人材が巣立つこと」が先生の願いだ。

※講義は2019年に取材したものです。

奥村（おくむら） 与志弘（よしひろ）先生に聞きました

Q 今日の講義は、10年後の社会でどのように役立っていますか?

A 学生たちが10年後、どのような業界でどのような立場で仕事をすることになっても、私たちが社会で安心して暮らすために、やれるべきことがあります。講義で学んだ内容をベースに考えて行動していけば、社会により良い変化をもたらすことができるでしょう。

Profile

2003年、京都大学工学部地球工学科卒業。2005年、同大学大学院工学研究科都市環境工学専攻修士課程修了。2008年、同大学大学院情報学研究科社会情報学専攻博士課程修了。同年、阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」研究員。2012年、京都大学大学院地球環境学堂助教。2015年、米国ハワイ大学 客員研究員。2017年、関西大学社会安全学部 准教授。

記者の目
関西大学は こんな大学

社会安全学部は日本初の学部となるそうです。今年10周年を迎える高槻ミューズキャンパスは建物も新しく、近代的な印象。西館1階には「安全ミュージアム」があり、学内は新しい学問を学ぶための自由な雰囲気が溢れているように感じました。